

秋葉原ワシントンホテル宿泊約款

適用範囲

- 第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された習慣によるものとします。
- 2 当ホテルが、法令又は習慣に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申込み

- 第2条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする方は、次の事項を当ホテルに申し出て頂きます。
- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

- 第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときはこの限りではありません。
- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊機関（3日を超える時は3日間）の基本宿泊料を限度とし当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込み金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第5条及び第19条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し残金があれば、第18条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の申込み金を同行の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知したばあいに限ります。

申込み金の支払いを必要としないこととする特約

- 第4条 前条第2項規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後前項の申込み金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2 宿泊契約の申込みを承諾するにあたり、当ホテルが前条第2項の申込み金の支払いを求めなかった場合及び当該申込み金の支払い期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

宿泊契約締結の拒否

- 第5条 当ホテルは次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 宿泊申込みがこの約款によらないとき。
 - (2) 満室により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとするものが、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとするものが他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (5) 宿泊しようとするものが、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき。
 - (6) 宿泊しようとするものが、暴力団・暴力団関係団体又は関係者、その他反社会的勢力であるとき。
 - (7) 宿泊しようとするものが、暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
 - (8) 宿泊しようとするものが法人で、その役員のうち暴力団員に該当するものがあるとき。
 - (9) 宿泊しようとするものが宿泊施設もしくは宿泊施設職員（従業員）に対し、暴力的要求をおこない、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき。又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
 - (10) 天災、施設の故障、その他やむをえない事由により宿泊させることができないとき。
 - (11) 東京都旅館業法施行条例第5条の規定に該当するとき。

宿泊客の契約解除権

- 第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は、一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが、申込金の支払い期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知した場合に限ります。
- 2 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日の当日の午後10時（予め到着予定時刻が明告されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

当ホテルの契約解除権

- 第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき又は、同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (3) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (4) 宿泊客が他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。

- (5) 宿泊客が暴力団・暴力団員・暴力団関係団体または関係者、その他反社会的勢力であるとき。
 - (6) 宿泊客が暴力団または暴力団体が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
 - (7) 宿泊客が法人で、その役員のうち暴力団員に該当するものがあるとき。
 - (8) 宿泊客が法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者があるとき。
 - (9) 東京都旅館業法施行条例第5条の規定に該当するとき。
 - (10) 寝室での寝たばこ、消防用観測備品に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだに提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊の登録

- 第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊客の指名、年齢、性別、住所及び職業
 - (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、前泊地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び後泊地
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第13条の料金の支払いを、商品券、クーポン券、宿泊券、クレジットカード等、通貨に変わりうる方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

客室の使用時間

- 第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後2時から翌朝1時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、チェックアウトタイムを超えて客室の使用に応じる場合があります。この場合には、次にあげる追加料金を申し受けます。
- (1) 午後2時までは、1名につき1時間ごとに660円
 - (2) 午後2時以降は、室料金の金額

利用規則の順守

- 第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に提示した利用規則に従っていただきます。

宿泊の継続及び館内施設利用の拒否

- 第11条 当ホテルは、宿泊契約の申込みを承諾した期間中といえども、次に掲げる場合においては、宿泊の継続及び館内施設の利用をお断りすることがあります。
- (1) 第5条第3号から第11号までに該当することになったとき。
 - (2) 宿泊客が前条の利用規則に従わなかったとき。

営業時間

- 第12条 当ホテルの主な施設等の営業時間は、次の通りとし、その施設等の詳しい営業時間は、備え付けパンフレット、各所の提示、客室内のサービスディレクター等でご案内いたします。
- (1) フロントのサービス時間 24時間
 - (2) 飲食等施設 「ボンサルーテ・カフェ」3階 朝食 6:30~10:00 (平日)
6:30~11:00 (土・日・祝日)
- 2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には随時に変更することがあります。その場合には適当な方法をもってお知らせします。

料金の支払い

- 第13条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第11に掲げるところによります。
- 2 前項の宿泊料金の支払いは、日本の通貨又は当ホテルが認めた商品券、クーポン券、宿泊券、クレジットカード等、通貨に変わりうる方法により、宿泊客の到着の際は又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていただけます。ただし、小切金は扱っておりません。
- 3 宿泊客が客室の使用を開始したのち、任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

当ホテルの責任

- 第14条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行にあたり、またはそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときには、その損害を賠償します。ただし、当ホテルの責めに帰すべき事由でないときは、この限りではありません。
- 2 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取り扱い

- 第15条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊斡旋の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

寄託物の取り扱い

- 第16条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価格の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 15 万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が、当ホテルにお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価格の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

- 第17条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合、当ホテルは発見日を含め 7 日間保管しその後最寄りの警察署に届けます。
3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

駐車場の責任

- 第18条 宿泊客が当ホテル建物内外の駐車場をご利用になる場合、当該駐車場が掲げる駐車場利用規定に則ってご利用いただけます。なお、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所を紹介、案内するものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。

宿泊客の責任

- 第19条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

支配する国語

- 第20条 本約款は、日本語と英語で作成されますが、約款の両文の間に相違があるときは、日本語が全ての点について支配するものとします。

管轄及び準拠法

- 第21条 本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表第 1
宿泊料金の算定方法(第 2 条第 1 項 3 号及び第 13 条第 1 項関係)

		内 容
宿泊客が 支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料(室料) ②サービス料(①×10%) ③税金(1)消費税((①+②)×消費税率) (2)①+②の合計が一人当たり10,000円を超える場合は、(1)の他に宿泊税がさらに課税されます。なお、税額につきましては以下のとおりです。 ①+②の合計が一人当たり10,000円-14,999円の場合 100円 ①+②の合計が一人当たり15,000円以上の場合 200円
	追加料金	④飲食料 ⑤サービス料(④×10%) ⑥税金(1)消費税((④+⑤)×消費税率) ⑦その他の利用料金 ⑧サービス料(⑦×10%、サービス料をいただかない場合もあります。) ⑨消費税((⑦+⑧)×消費税率)

別表第2

違約金(第6条第2項関係)

(1)通常期(イベント期間を除く)

契約解除の通知を 受けた日 契約申込人数		不泊	当日	前日	9日前 以降
一般	9名まで	100%	80%	20%	
団体	10名以上	100%	80%	20%	10%

注)

1. %は基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 団体客(10名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前以前の解除については(その日より後に申込みをお受けした場合にはお引き受け当日)、違約金はいただきません。

(2)イベント期間

契約解除の通知を 受けた日 契約申込人数		不泊	当日～7日前	8日前～60日前
一般	14名まで	100%	100%	50%
団体	15名以上	100%	100%	50%

*イベント期間とは、ホテルの近隣地域において、大規模な催事(花火大会、コンサート、スポーツ大会、博覧会、その他各種イベントなど)が開催される期間です。期間は、ホテルが設定して事前に告知します。

秋葉原ワシントンホテル貸金庫使用規定

1. (使用目的及び使用料)
 - (1) 貸金庫の使用期間は、借主が宿泊客として当ホテルに滞在する期間に限ります。
 - (2) 貸金庫の使用料はいただきません。
2. (貸金庫の開閉)
 - (1) 貸金庫の開閉は、貸金庫の使用証(以下「使用証」といいます。)に署名された方のみが行うことができます。
 - (2) 貸金庫を開庫する際は、使用証の一部引き出し欄又は受け取り欄にご署名のうえ、使用証と鍵及び借主が宿泊する客室のカードキーを係にご提示ください。
3. (鍵等の保管)
 - (1) 使用期間中、貸金庫の鍵は借主が保管してください。
 - (2) 貸金庫のご使用が終了したときは、鍵を係にお返しください。
4. (鍵の紛失)
 - (1) 貸金庫の鍵を紛失された場合は、鍵交換費用として¥10,000を頂戴いたします。
 - (2) 鍵を紛失された場合における貸金庫の開庫については、ご署名の照会、借主が宿泊する客室のカードキーをご提示いただくほか、必要があるときは保証人を求めることがあります。
5. (ご署名の照会)

当ホテルが、使用証のご署名の照会並びに使用証、貸金庫の鍵及び借主が宿泊する客室のカードキーご提示の確認等相当の注意を持って借主を確認し、相違ないものと認めて開庫その他の取り扱いをした場合であって、ご署名の偽造もしくは変造又は貸金庫の鍵もしくは客室のカードキーの盗難や悪用があった場合は、そのために生じた損害について当ホテルは責任を負いません。
6. (損害の負担)
 - (1) 暗証番号及び鍵の盗用や紛失、使用者の操作ミスや故障、天災等いかなる事由に於いても、物品の紛失破損に対し当ホテルは一切賠償責任を負いません。
 - (2) 貸金庫の格納品の毀損、変質その他借主の責めに帰すべき事由により、当ホテル又は第三者が損害を受けたとき、その損害を賠償していただきます。
7. (格納品の引取り等)
 - (1) 使用期間が終了したときは直ちに貸金庫の格納品をお引き取りください。
 - (2) 次の各号に該当する場合、当ホテルは、使用期間中であっても、借主に格納品の引取り又は格納品を他の貸金庫に移動することを求めることができます。
 - (a) 格納品の変質その他借主の責めに帰すべき事由により、当ホテル又は第三者に損害を与えたとき、またはその恐れがあると認められる相当の事由が生じたとき。
 - (b) 貸金庫の修繕又は移転、当ホテルの責めに帰さない事由による貸金庫の故障その他やむをえない事情により貸金庫の全部又は一部の使用ができなくなったとき。
8. (格納品の処分)
 - (1) 使用期間終了後1週間を経過しても格納品をお取りいただけない場合は、当ホテルは貸金庫を開庫のうえ、格納品を遺失物法に定める措置をなし、または別途管理もしくは一般に適当と認められる方法、期間、価格等により処分し、処分が困難な場合には、破棄することができるものとします。
 - (2) 前項の措置に要する費用は、借主が負担するものとします。
 - (3) 前項の費用及び鍵の実費その他借主が負担すべき費用をお支払いいただけない場合は、第1項の処分代金をもってこれに充当することができるものとします。
9. (緊急措置)

法令の定めるところにより貸金庫の開庫を求められたとき又はホテルの火災、格納品の異変、その他緊急を要する事態が生じたときは、当ホテルは随機の措置をすることができるものとします。このために生じた損害については、当ホテルは責任を負いません。

秋葉原ワシントンホテル利用規則

ホテルの公共性と安全性を維持するため、当ホテルをご利用になるお客様には宿泊約款第 10 条に基づき下記の規則をお守りいただきます。

この規則をお守りいただけないときには、宿泊約款第 11 条により宿泊の継続及び館内施設の利用をお断りさせていただきます。

記

- (1) 廊下及び客室内で暖房用、炊事用などの火器及びプレス用のアイロンなどをご使用にならないこと。
- (2) ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所で喫煙をなさらないこと。
- (3) 高声放歌や喧噪な行動その他により、他人に嫌悪感を与えたり迷惑を及ぼしたりなさらないこと。
- (4) 廊下及び客室内に次のようなものをお持ち込みにならないこと。
 - A. 動物、鳥類等(ただし、身体障害者補助犬を除く)
 - B. 著しく悪臭を発するもの
 - C. 著しく多量な物品
 - D. 火薬や揮発油など、発火あるいは引火しやすいもの
 - E. 適法に所持を許可されていない銃砲、刀剣類
- (5) ホテル内で、とばく及び風紀を乱すような行為をなさらないこと。
- (6) みだりに外来者を客室内に引き入れたり、客室内の諸設備、諸物品などを使用させたりなさらないこと。
- (7) 客室やロビーを事務所、営業所の代わりに使用なさらないこと。
- (8) 廊下及び客室内の諸設備、諸物品をその目的以外の用途に当てないこと。
- (9) 客室内の諸物品をホテルの外に持ち出したり、ホテル内の他の場所に移動したりなさらないこと。
- (10) ホテルの建築物や諸設備に異物を取り付けたり、現状を変更するような加工をなさらないこと。
- (11) ホテルの外観を損なうような品物を窓にお掛けにならないこと。
- (12) ホテル内で他のお客様へ広告物を配布するような行為をなさらないこと。
- (13) 廊下やロビーなどに靴やその他の所持品を放置なさらないこと。
- (14) ホテル外から飲食物の出前をお取りにならないこと。
- (15) 宿泊料金はご到着時にお支払い下さること。
- (16) ご宿泊日数を変更なさる場合は、あらかじめフロントにご連絡下さること。
- (17) ご宿泊日数を延長なさる場合は、それまでの利用料金を清算し、新たに宿泊料金をお支払い下さること。
- (18) お預けになった洗濯物やお荷物の保管は、特にご指定のない限りお預かり発生後 3 ヶ月までとさせていただきます。
- (19) 当ホテルは、暴力団・暴力団員または関係者、その他反社会的勢力のご利用はお断りいたします。(ご予約あるいはご利用中といえども、暴力団・暴力団員または関係者、その他反社会的勢力であると判明したときは、その時点で当ホテルのご利用をお断りいたします。)

Terms and Conditions for Accommodation Contracts at AKIHABARA WASHINGTON HOTEL

Scope of Application

Article 1.

Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally practices.

2. In the case when the Hotel has entered into special contract with the Guest in so far as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Application for Accommodation Contracts

Article 2.

A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name of the Guest(s);
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1);
 - (4) Other Particulars deemed necessary by the Hotel
2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Conclusion of Accommodation Contract, etc.

Article 3.

A contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 19 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 18.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

Article 4.

Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Refusal of Accommodation Contracts

Article 5.

The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
- (4) When the Guest seeking accommodation is a party of gang, gangster, organization related to gang, or any other antisocial organization;
- (5) When the Guest seeking accommodation is a corporation or a group controlled by gang or gangster;
- (6) When the Guest seeking accommodation is a corporation of which executive has any relations to gangster;
- (7) When the Guest seeking accommodation in fact conducts himself to disturb or annoy other guests;
- (8) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;
- (9) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;

(10) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and / or other unavoidable causes;

(11) When the Guest appears liable to conduct in a disorderly manner, especially when the Guest is heavily intoxicated;

Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest

Article 6.

The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.

2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges listed in the Attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges by the Guest.

3. In the case when the Guest does not appear by 10:00 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel

Article 7.

The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases;

(1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;

(2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;

(3) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;

(4) When the Guest appears liable to conduct, or in fact conducts himself in a disorderly manner; when the Guest disturbs or annoys other guests or especially when the Guest is heavily intoxicated;

(5) When the Guest seeking accommodation is a party of gang, gangster, organization related to gang, or any other antisocial organization;

(6) When the Guest seeking accommodation is a corporation or a group controlled by gang or gangster;

(7) When the Guest seeking accommodation is a corporation of which executive has any relations to gangster;

(8) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;

(9) When the Guest does not observe prohibited actions by the Hotel Use Regulations;

(10) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).

2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

Registration

Article 8.

The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation.

(1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);

(2) Except Japanese, nationality, passport number, port and date of entry in Japan;

(3) Date and estimated time of departure;

(4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 18 by any means other than Japanese currency, such as gift certificates (gift coupons), coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Occupancy Hours of Guest Rooms

Article 9.

The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 2:00 p.m. to 11:00 a.m. the next morning.

However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case extra charges shall be paid as follows.

(1) Up to 2:00 p.m. ¥660, per person per hour

(2) After 2:00 p.m. room charge in full

Observance of Use Regulations

Article 10.

The Guest shall observe the Use Regulation established by the Hotel, which are posted in this Hotel.

Refusal of Continued Occupancy or Use of Facilities

This Hotel may refuse the continued occupancy by a guest or the use of any facilities in this Hotel by a guest, even for the accommodation period accepted by this Hotel, in the following circumstances:

- (1) Upon the occurrence of a situation falling within the purview of subparagraph (3) through (11) of Article 5,
- (2) When the Guest does not observe the rules stated in the preceding Article.

Business Hours

Article 12.

The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in guestrooms and others.

- (1) Service hours of front desk 24 hours
- (2) Service hours at facilities for dining and drinking Bunsaita café (9 f)
Breakfast 6:30~10:00 (Weekdays)
Breakfast 6:30~11:00 (Sat, Sun and Holiday)

2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

Payment of Accommodation Charges

Article 13.

The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency (excluding personal checks) such as gift certificates (gift coupons), coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of arrival of the Guest or upon request by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at his disposal.

Liabilities of the Hotel

Article 14.

The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in case when such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

2. Even though the Hotel has received the "PASS MARK" (certificate of excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station) furthermore, the Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

Handling When the Hotel is unable to Provide Contracted Rooms

Article 15.

The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the

2. Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

Handling of Deposited Articles

Article 16.

The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash, or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report its kind and value but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at front desk. However, for articles of which the kind and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest

Article 17.

When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, the Hotel shall keep the article for 7 days

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
3. The Hotel liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1. of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2. of the same Article in the case of Paragraph 2.

Liability in regard to Parking Article 18.

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers space for parking, whether the key of the vehicle has been deposit to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

Liability of the Guest Article 19.

The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Governing Language Article 20.

These provisions are written both in Japanese and English. In the event of any inconsistency or difference between the two versions of these provisions, the Japanese version shall prevail in all respects.

Jurisdiction and Applicable Laws Article 21.

Any dispute arising from or in relation to these provisions shall be referred to the Japanese court having jurisdiction over the location of this Hotel and resolved in accordance with applicable Japanese laws.

Attached Table No. 1

Calculation method for Accommodation Charges, etc. (Ref. Paragraph 1. of Article 2 and Paragraph 1. of Article 18)

		Contents
Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges	① Basic Accommodation Charge (Room Charge) ② Service Charge (①×10%) ③ Taxes (1) Consumption Tax ((①+②)×Consumption Tax Rate)
	Extra Charges	④ Extra Meals & Drinks ⑤ Service Charge (④×10%) ⑥ Taxes (1) Consumption Tax ((④+⑤)×Consumption Tax Rate)